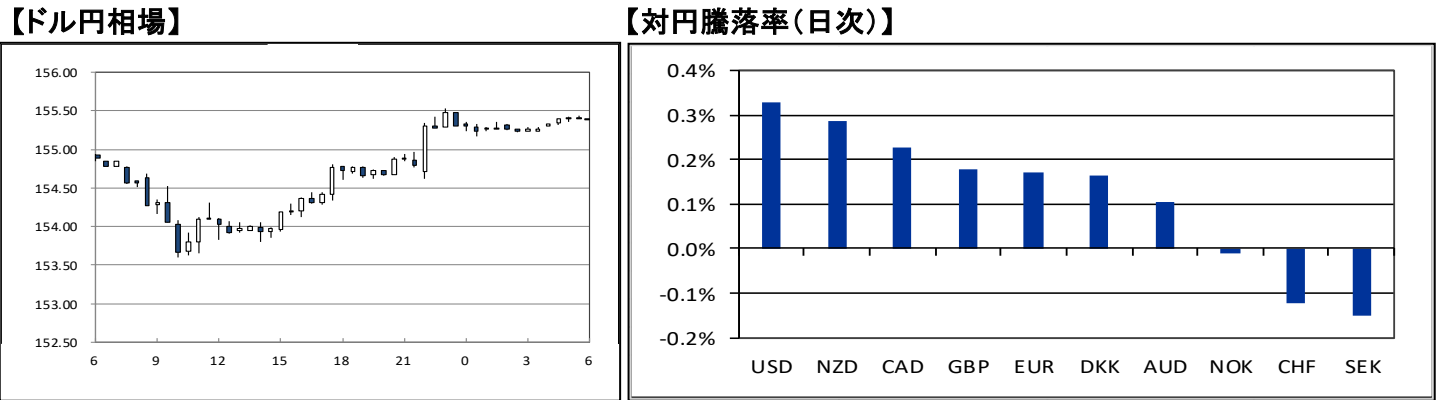


【昨日の市況概要】				公示仲値	153.96
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.31	1.0888	168.09	1.2689	0.6700
SYD-NY High	155.53	1.0895	168.90	1.2700	0.6714
SYD-NY Low	153.60	1.0855	167.34	1.2645	0.6655
NY 5:00 PM	155.40	1.0867	168.87	1.2669	0.6678
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,869.38	▲ 38.62	日本2年債	0.3200%	▲0.0100%
NASDAQ	16,698.32	▲ 44.07	日本10年債	0.9200%	▲0.0300%
S&P	5,297.10	▲ 11.05	米国2年債	4.7943%	0.0695%
日経平均	38,920.26	534.53	米国5年債	4.4003%	0.0561%
TOPIX	2,737.54	6.66	米国10年債	4.3760%	0.0330%
シカゴ日経先物	38,570.00	▲ 150.00	独10年債	2.4435%	0.0215%
ロンドンFT	8,438.65	▲ 7.15	英10年債	4.0780%	0.0115%
DAX	18,738.81	▲ 130.55	豪10年債	4.1960%	▲0.1380%
ハンセン指数	19,376.53	302.82	USDJPY 1M Vol	8.79%	0.12%
上海総合	3,122.40	2.50	USDJPY 3M Vol	8.67%	▲0.23%
NY金	2,385.50	▲ 9.40	USDJPY 6M Vol	8.97%	▲0.18%
WTI	79.23	0.60	USDJPY 1M 25RR	▲0.95%	Yen Call Over
CRB指数	289.99	0.02	EURJPY 3M Vol	8.24%	▲0.16%
ドルインデックス	104.46	0.12	EURJPY 6M Vol	8.56%	▲0.22%

東京	東京時間のドル円は154.31レベルでオープン。NY時間からのドル売り円買いの流れが継続するなか、一時153.60まで下落。昼前には持ち直す場面が見られたものの、長くは続かず。その後は154円ちょうど近辺での推移。欧州時間前には、再び円売りドル買いの動きが強まり、1日の下げ幅を縮小させるなか、154.21レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、154.21レベルでオープン。特段の材料がない中、米10年債利回りやクロス円の上昇を背景に買い戻しも入ってか、154.93まで上昇し、結局154.88でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台後半でスタート。米長期金利の低下が重しとなり、153.60まで下落。しかし、その後は低下していた米金利が上昇する動きを横目に反発し、154.88でNYオープン。朝方には複数の米経済指標の結果が発表され、米新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数や米4月住宅着工件数が軒並みに予想より悪化するも、ドル円への影響は限定的。その後も米金利が上昇幅を拡大する展開を背景に、ドル買いが一段と強まり、155.53まで上伸。その後は買い一巡となり、155.30付近まで反落。午後はメタ・クリ・ブランド連銀総裁が「現行の政策金利維持が物価目標達成につながる」等との効派発言がドル円の下値を支え、高値圏の155.30近辺での推移が続き、155.40でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。米金利が上昇する展開や、デウス・スペイン中銀総裁の「6月に利下げ開始の見通し」との発言を受け、じり安での推移が続き、1.0868でNYオープン。朝方は米金利が上昇幅を拡大する動きが一段の重しとなり、1.0855まで値を下げるも、その後独金利も上昇する展開に買い戻しが入り、1.0875まで反発。午後は1.0870付近での値動きが続き、1.0867でクロス。

【昨日の指標等】							結果	予想
Date	Time		Event					
5月16日	08:50	日	GDP(年率/季調済/前期比)・速報	1Q			-2.0%	-1.2%
	08:50	日	GDPデフレーター(前年比)・速報	1Q			3.6%	3.3%
	10:30	豪	雇用者数変化	4月			38.5k	23.7k
	10:30	豪	失業率	4月			4.1%	3.9%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	11-May			222k	220k
	21:30	米	住宅着工件数	4月			1360k	1421k
	21:30	米	建設許可件数	4月			1440k	1480k
	21:30	米	住宅着工件数・許可件数(前月比)	4月			5.7%/-3%	7.6%/0.9%
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	4月			0.0%	0.1%
	23:00	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演				持続的に2%に達するには、もう少し時間がかかると思う	
【本日の予定】							予想	前回
Date	Time		Event					
5月17日	18:00	欧	CPI(前年比/前月比)・確報	4月			2.4%/0.6%	2.4%/0.6%
	23:15	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-			-	-
5月18日	01:15	米	デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-			-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.60-155.80	1.0820-1.0910	168.10-169.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下方方向に往ってこいの展開。前日米国CPI発表後の米金利低下・ドル売りの流れを引き継ぎ、東京時間も下げが先行。東京仲値にかけ、153.60と5/6ぶりの安値水準をつけた。しかし、実需含めた押し目買いで154円台に反発すると、海外時間にかけても米金利の低下幅縮小、ウィリアムズNY連銀総裁の利下げに対する慎重発言などを眺めながら154円後半まで上昇。さらにNY時間朝方発表の米輸入物価指数の大幅上昇を受け米金利が上昇する動きに、ドル円も155円台を回復ストップを巻き込みながら155.53まで上昇し、その後もこの日の高値圏のままの推移となった。昨日FRB高官の発言にもみられたように、今後のFRBの金融政策を占う上では米4月CPIの結果だけではまだ不十分であるとの認識が主流であり、市場の利下げ織り込みも結果進まなかった。月末のPCEコア含め追加のデータが待たれる中、ドル高相場の転換点はまだ先になりそう。本日日銀の国債買入オペを予定し、今週13日に5-10年ゾーンの減額サプライズがあっただけに同内容にも注視したい。